

R8 理数コース出前授業（2年生）

北野生涯教育振興会 メディアアーティスト派遣事業 講師：橋本 典久

6/26 金の 56 限に橋本典久先生をお招きして出前授業を実施しました。19 世紀に作成された映像装置（アノースコープ）の仕組みを解き明かすというテーマで、目の前で起きるちょっと不思議な現象の仕組みについて仮説を立てて検証しました。班を途中で組み替えて意見交換を行うワールドカフェ方式で他者と対話することで、異なる視点やアイデアを組み合わせ、正解や核心へ近づいていくプロセスに面白さや達成感を得ることができたのではないのでしょうか。



講師の橋本先生は「正解にたどり着くことよりも、他者の考えや意見を吟味することで一人ではたどり着けないところに辿り着く経験が重要」という話をされており、今日のワークショップを通じて多くの生徒が実感をもって理解できたと感じました。

今後控えている探究活動でも、今日の経験が生かされるとよいですね。

生徒の感想

意見交換をすることで自分の島での固定観念が変わっていく感触が楽しかった。そしていかに自分の固定観念が小さなものであるかにも気付かされた。これは海外旅行をすることで自分の価値観が変わるようなものと同じものだと思った。また、言語化する力も育成していくことでさらに高性能で意味のある会話になると思った。

始めは小難しい話であまり乗り気ではなかったけれど、みんなで実験、検証を繰り返していくうちに自分でも気づかないうちに引き込まれていておどろいた。答がある問いの方が楽でいいと思っていたけれど、答がない問いもずっと考えることができ、どのアイデアも否定することができないので悪くないと思った。

最初は、頭のなかでなんとなくこういう答えになるんだろうなという像ができていましたが、人と話すときに全く言いたいことの 5 割も言語化できない上にそもそも考え方が間違っていたことに作業する上で気付けたので、百聞は一見に如かずといいますか、実際に作業することの大切さに改めて気付きました。